

学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：学術フォーラム「欧州とアジアの地域紛争をめぐる平和的解決と、世界経済の行方ー学術共同の観点からー」
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：なし
- 3 開催日時：7月9日(日)14時～17時30分
- 4 開催場所：日本学術会議講堂 オンライン併用
- 5 開催趣旨：

ロシア・ウクライナ戦争をめぐる欧州の不安定化と、米中対立に伴う東アジアでの防衛強化と緊張の高まりを、歴史的・社会的な問題も含め、また学術が地域紛争の平和的な解決にどのように貢献できるのか、という立場から多元的に検討し、解決の方策を探ります。

またこれらの背景に、世界的な経済変動があり、とりわけ「国家主導資本主義」と脱グローバル化の問題が、分断を助長しているという重要な国際経済の枠組みから地域紛争の根源を明らかにします。
- 6 参加人数：

講演者等：11名
その他の参加者：137名（オンライン：120名、現地：17名）
- 7 特記事項：

時宜に即したテーマであったためか、多くの研究者、一般の方々の参加が得られ高い評価となった。

地域紛争の平和的解決、和解学と、世界経済の変動は、現在最も緊張をはらんだ重要なテーマでもある。結果をまとめ、『学術の動向』などで引き続き、成果を広報しながら、今後も地道に現状を多角的に分析し、解決策を検討、議論していく所存である。